

公 表 日
令和 5年 2月 1日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度大分川・大野川河川水位予測システム改良業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 九州地方整備局 大分河川国道事務所副所長 西田 省三 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 5年 1月31日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	39,996,000円(税込み)
予定価格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	
業務場所	大分河川国道事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 5年 2月 1日
履行期間(至)	令和 6年 3月31日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度大分川・大野川河川水位予測システム改良業務

2. 履行場所 大分河川国道事務所管内

3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

大分川・大野川水位予測（水害リスクライン）の精度向上を目的に既存の河川水位予測プログラムに県管理河川の河道モデルをとりこみ、水系一体の洪水予測システムの構築を行うことにより、既存の大分川・大野川洪水予測システムにおける精度向上を図る業務である。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、現地踏査、浸透解析範囲の検討、浸水解析モデルの検討、対象降雨の設定、浸水解析の実施、多段階浸水想定区域図の作成、リスクマップの作成、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」において目的、条件、内容が簡潔に記載されていること、及び特定テーマの「大分川・大野川における河川水位予測システム精度向上における留意点について」に対する技術提案について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長